

平成 31 年 2 月 12 日

各 位

気仙沼信用金庫

「絵本 de えがおプロジェクト」における冊子絵本の贈呈について

1. 背景

東日本大震災や熊本地震等で被災した子供たちを励まそうと、福岡県遠賀町の絵本作家 さかいみるさんが描いた絵本を配布するプロジェクトが行われております。

今回は、第 8 回目として冊子絵本『おちやのじかん』が作製されております。

本プロジェクトにおける絵本の製作費用等は、全国の賛同された方々からの協賛金等の支援で賄われていますが、全国から支援の輪がさらに広がり、今回を含めこれまでに合計 141,200 冊が印刷製本されております。

2. 今回の取組み

当金庫では、絵本作家さかいみるさんが描く「黒猫メチャくん」を通帳や看板のキャラクターとして使っている福岡県の遠賀信用金庫（福岡県遠賀郡岡垣町）と連携して本プロジェクトに取り組んでおります。

昨年度に続き、当金庫を含め宮城県内の 5 金庫が本取組みに賛同し、宮城県信用金庫協会として協賛金を拠出するとともに、当金庫を通じて、気仙沼市内の幼稚園等の施設へ 1,800 冊を贈呈することとなりました。

3. その他

気仙沼市等の幼稚園等の施設へ入所児童数にあわせて順次配布いたします。



気仙沼信用金庫

【贈呈の様子（平成 31 年 2 月 12 日）】



【冊子絵本について】

今回第八作目となる冊子絵本「おちゃのじかん」は、主人公の「黒猫メチャくん」が、しょんぼりしている友達ニロくんに、おちゃのじかんを村の友達みんなと楽しく過ごすなかで、「いま、ここ」にあるかけがえのない輝きを見つけてもらう、という内容です。登場する動物やキャラクターが愛らしく描かれ、日本語と英語で、心温まる物語が展開されています。

さかいさんは、震災後、夫であるデザイナーの境修一郎さんと被災地に冊子絵本を贈ることを企画し、実行委員会を作って全国の賛同者に協賛金を募り、次のとおり製作を続けています。

震災直後の 2011 年春に第一作「きみのこと とっても すきさ」

2012 年夏 第二作「ありがとう」

2013 年秋 第三作「きみのともだち」

2014 年冬 第四作「ぼくがうまれたひ」

2015 年冬 第五作「はじめまして」

2016 年冬 第六作「おてがみ」

2017 年冬 第七作「Picnic」

2018 年冬 第八作「おちゃのじかん」

